

きょうかしよ むかしの教科書

めいじ しょうわ きょうかしよ
明治から昭和10年代の教科書



時代により小学校も呼びかたが違います。大正時代は尋常小学校、1941年(昭和16)には国民学校と変わりました。

岡崎むかし館 蔵

しょうがくこくごどくほん じんじょうかようかんいち
小 学 国語読本 尋常科用巻一(サクラ読本)



1933年(昭和8)から、カラー印刷が表紙や低学年用教科書に取り入れられました。

岡崎むかし館 蔵

私たちは学校で、教科書を使って勉強をしています。むかしは、教科書は買わなくてはいけませんでした。そのため、みんなおさがりの教科書を使っていました。みんなで使うためボロボロですが、大切に使われていました。

ただし、おさがりの教科書を使うことができたのは、おもに1930年代より前で、数年から十数年間にわたり同じ教科書が全国どの学校でも使用されていたからです。

現在では小中学校の教科書は無償でもらえます。内容もしばしば見直され、年度によって違う出版社の教科書になることもあるため、おさがりには使えません。また、使用する教科書は地域ごとに決めています。

教科書が無償でもらえるといっても、国民の税金が使われているので、大切にしてくださいね。

むかしの教科書の内容は、『日本教科書体系』(講談社)で見ることができます。
中央図書館1階レファレンスカウンターで聞いてみてね。

■児童生徒1人当たりの平均教科書費(平成19年度用)

小学校		中学校	
学年区分	金額	学年区分	金額
第1学年用	3,223 円	第1学年用	7,352 円
第2学年用	1,666 円	第2学年用	3,814 円
第3学年用	4,146 円	第3学年用	2,266 円
第4学年用	2,674 円	各学年の平均	4,477 円
第5学年用	3,800 円		
第6学年用	3,024 円		
各学年の平均	3,091 円		

*文部科学省 HP より
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/010301.htm) 2012.06.20